

## 道県のさけ増殖団体

公益社団法人 北海道さけ・ます増殖事業協会  
〒060-0003

北海道札幌市中央区北三条西7-1 水産ビル5F  
TEL 011-271-5421 FAX 011-271-5423  
http://www.sake-masu.or.jp/

青森県鮭鱒増殖協会

〒030-0955  
青森県青森市駒込桐ノ沢55-10  
TEL 080-3148-1035 FAX 017-741-8984

一般社団法人 岩手県さけ・ます増殖協会

〒020-0023  
岩手県盛岡市内丸16-1 岩手県水産会館3F  
TEL 019-654-8587 FAX 019-652-0165  
http://www.echna.ne.jp/

宮城県さけます増殖協会

〒985-0812  
宮城県宮城郡七ヶ浜町松ヶ浜字浜屋敷142-1  
(公財) 宮城県水産振興協会内  
TEL 022-253-6177 FAX 022-253-6178  
http://business4.plala.or.jp/msm24/

福島県鮭増殖協会

〒979-2441  
福島県南相馬市鹿島区角川原字東川原203-4  
真野川鮭増殖組合内  
TEL 0244-46-2205

茨城県さけ・ます増殖協会

〒310-0011  
茨城県水戸市三の丸1-1-33  
すいさん会館 茨城県内水面漁連内  
TEL・FAX 029-231-1506

秋田県鮭鱒増殖協会

〒011-0945  
秋田県秋田市土崎港西1-5-11  
秋田県漁業協同組合内  
TEL 018-845-1311 FAX 018-846-5039

山形県鮭人工孵化事業連合会

〒990-0023  
山形県山形市松波2-8-1 山形県庁水産課内  
TEL 023-641-2407 FAX 023-641-2417

一般社団法人 新潟県さけます増殖協会

〒950-0902  
新潟県新潟市南万代町13-3 松崎ビル2F  
新潟県内水面漁連内  
TEL 025-241-5795 FAX 025-241-8761

富山県鮭鱒部会

〒930-0096  
富山県富山市舟橋北町4-19  
富山県森林水産会館3F  
TEL 076-441-6124 FAX 076-431-5935

## 関係試験・研究機関

国立研究開発法人 水産研究・教育機構

水産資源研究所 さけます部門  
札幌庁舎 TEL 011-822-2131(代表)  
宮古庁舎 TEL 0193-63-8121  
塩釜庁舎 TEL 022-365-9927

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構

水産研究本部 さけます・内水面水産試験場  
TEL 0123-32-2135 (代表)

地方独立行政法人 青森県産業技術センター

内水面研究所  
TEL 0176-23-2405

岩手県水産技術センター

TEL 0193-26-7911 (代表)

宮城県水産技術総合センター

TEL 0225-24-0138 (代表)

福島県水産海洋研究センター

TEL 0246-54-3151 (代表)

茨城県水産試験場内水面支場

TEL 0299-55-0324 (代表)

秋田県水産振興センター

TEL 0185-27-3003 (代表)

山形県内水面水産研究所

TEL 0238-38-3214

新潟県水産海洋研究所

TEL 025-261-2041 (代表)

富山県農林水産総合技術センター水産研究所

TEL 076-475-0036 (代表)

## 一般社団法人 全国さけ・ます増殖振興会

Japan salmon and trout resources enhancement association

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町9番6号 小伝馬町松村ビル6階

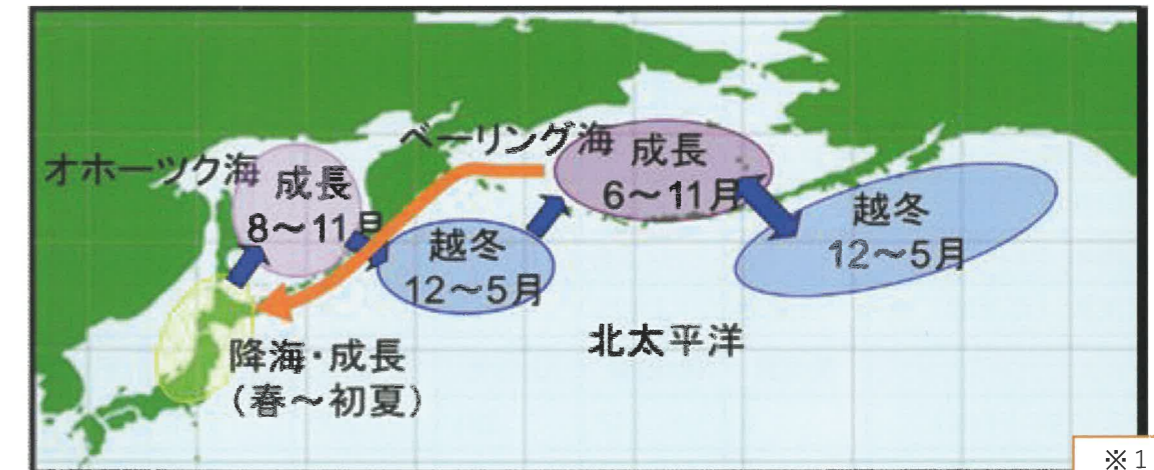
Tel 03-6825-3655 Fax 03-6825-3699

# サケの資源と漁獲を支える 心化放流事業

## サケの稚魚と漁獲風景



## サケの分布回遊図



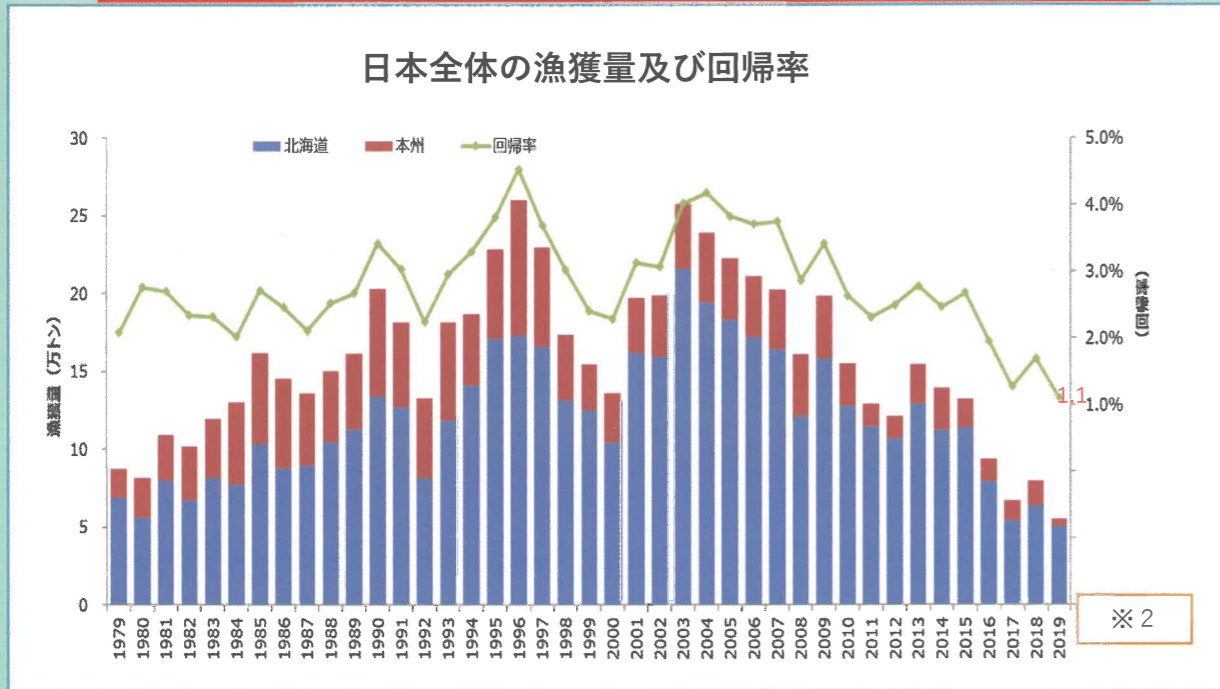
サケは約4年(3～5年)で大きくなり、生まれた川に戻ってきます。

一般社団法人  
全国さけ・ます増殖振興会



## サケの漁獲量及び回帰率

サケはふ化放流によって支えられていますが、**回帰率は低下**してきており、**漁獲量は2003年以降減少**しています。



## サケの漁獲及び放流の状況 (2020年)

	全体	北海道	青森県	岩手県	宮城県	福島県
総来遊数 (千尾)	20,178	18,330	499	541	188	6
海面漁獲 (千尾)	17,051	15,728	465	436	153	1
河川捕獲 (千尾)	3,127	2,601	33	105	34	5
回帰率 (%)	1.2	1.8	0.5	0.2	0.3	0.04
放流数 (百万尾) ※	1,470	1,123	50	180	20	1

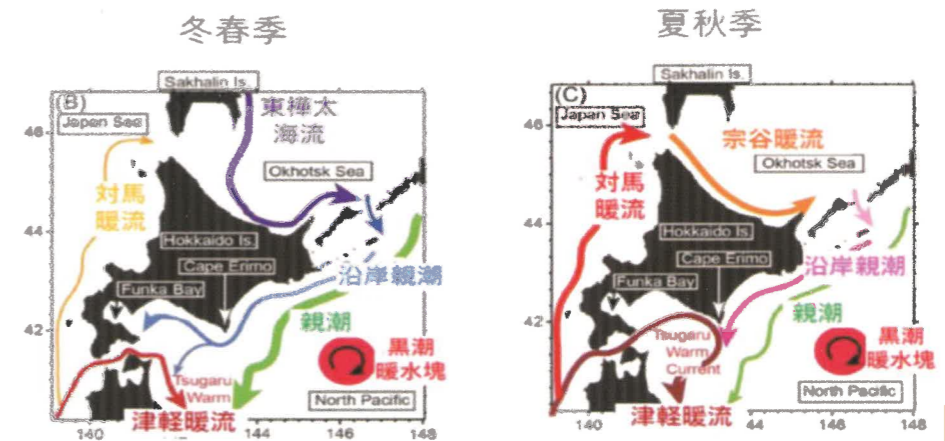
	茨城県	秋田県	山形県	新潟県	富山県	石川県
総来遊数 (千尾)	5	142	221	209	28	10
海面漁獲 (千尾)	0	97	80	82	6	4
河川捕獲 (千尾)	5	46	141	127	23	6
回帰率 (%)	0.4	0.7	0.8	0.7	0.2	0.2
放流数 (百万尾) ※	0	21	28	28	17	2

※放流数は、2019年。茨城県の放流数は、100万尾以下のため0となっている。国立研究開発法人 水産研究・教育機構の資料より編纂。

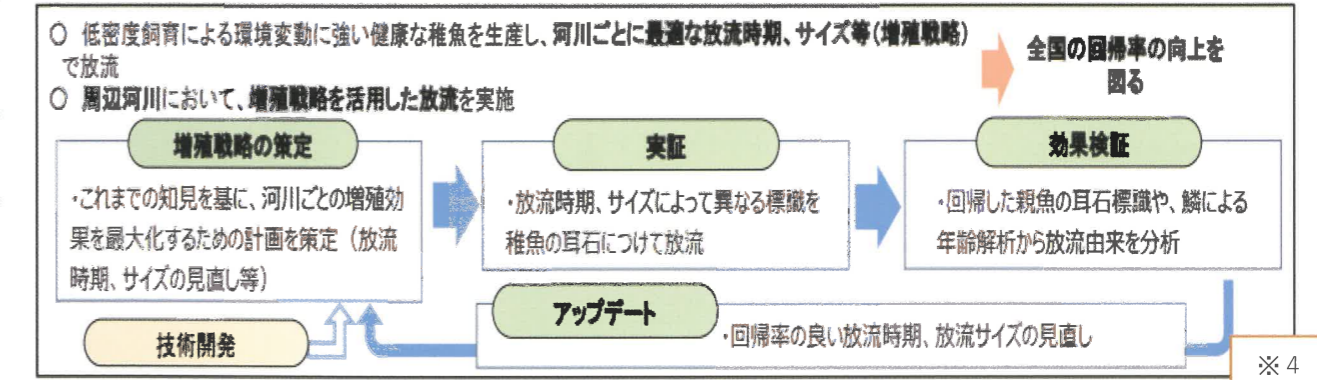
水産庁の「不漁問題に関する検討会」においては、**サケ不漁の要因**として以下のような内容を**仮説**としています。

- 親潮本流や沿岸の親潮支流が弱くなり、以下のような変化が起きている。
  - ・ サケ稚魚に適した水温 (5~13°C) の水域の継続する時間が短くなり、時期も変化している。
  - ・ 道東沖に黒潮由来の暖水塊が停滞し、三陸沿岸を南下する対馬暖流の影響が強くなったため、サケ稚魚にとって重要な育成場であるオホーツク海への北上回遊が阻害されている。
  - ・ サケ稚魚の餌となる動物プランクトンや、動物プランクトンの餌となる植物プランクトンの生産に必要な栄養塩が、従来と異なる季節的な変化を示すようになった。さらに、親潮が弱まったことが影響し、サケ稚魚の降海後の生育に必要な餌生物が減少している。
- 水温の上昇により、サケ稚魚を餌にする可能性のあるサバなどと分布域が重なり、これら捕食魚の餌となることにより、生残率が低下している。

北日本周辺の海面付近の流れ



民間のふ化場では、このような状況に対処するため試験研究機関の助言・指導を受けながら、水産庁の補助事業等も活用し、**健康な稚魚を育て、河川ごとに放流に適した時期やサイズ等に考慮したふ化放流事業に取り組んでいます。**



※1~4 出典：農林水産省Webサイト ([https://www.jfa.maff.go.jp/j/study/attach/pdf/furyou\\_kenntokai-14.pdf](https://www.jfa.maff.go.jp/j/study/attach/pdf/furyou_kenntokai-14.pdf))